

氏名	町 田 博 久
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 乙 第 2532 号
学位授与の日付	平成 5 年 3 月 28 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	CT 像からみた頸椎症性脊髄症に対する椎弓切除術症例の検討
論文審査委員	教授 平木 祥夫 教授 折田 薫三 教授 寺本 滋

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

頸椎症性脊髄症で椎弓切除術を施行した60例における術前・術後の computed tomography (以下CTと略す) について、側方への椎弓切除範囲とその成績への影響を検討した。

これら症例の術後成績は、優17例、良27例、可13例、不変3例、悪化0例であり、椎弓切除率80%以上のものでは改善率も良好であった。

CT像より算定した椎弓切除率80%未満のものでは、術後改善率が良好でないものが多いが、これは80%未満の切除率では十分な除圧がなされていないと推測される。

椎弓切除術においては側方への椎弓切除範囲を過不足なく拡大し、脊髄自体の十分な除圧を計ることが術後成績を向上させる上で大切である。そのための至適椎弓切除率は少なくとも80%以上が望ましい。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は頸椎症性脊髄症に対し椎弓切除術を施行した60例における術前・術後のCT像について、側方への椎弓切除範囲とその術後成績への影響を臨床的に研究したものであるが、従来十分確立されていなかった至適椎弓切除率に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。